

令和 5 年度までの食品ロス量の推移について

1 食品ロス削減の全体目標について

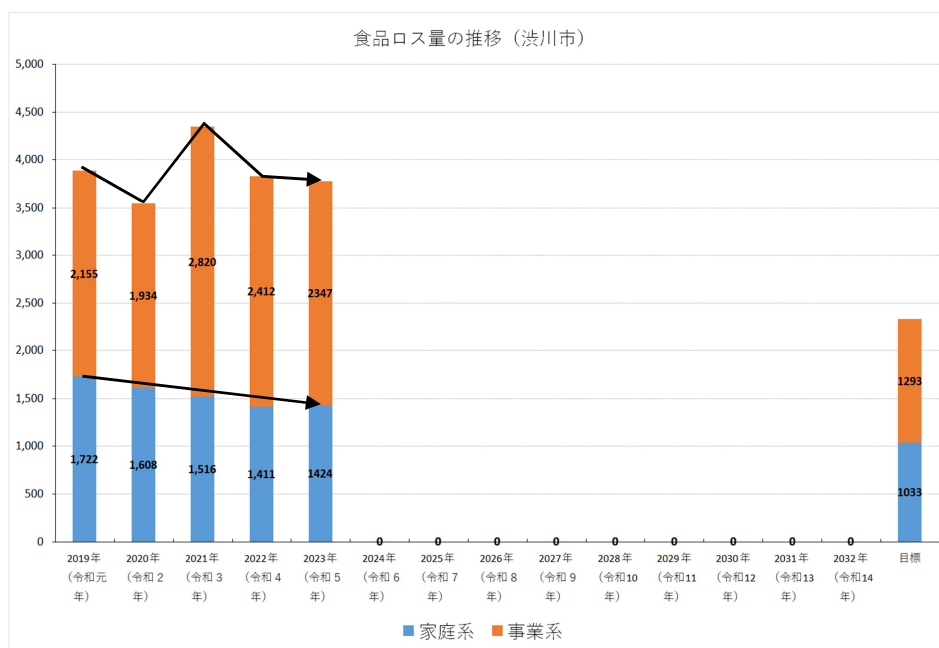
県は、令和元年 12 月に、2050 年に向けた「ぐんま 5 つのゼロ宣言」を表明し、その中の宣言 5 において 2050 年までに食品ロス「ゼロ」を目指すことを掲げました。県推進計画では、食品ロス「ゼロ」の実現のため、令和 12（2030）年度までに、令和元（2019）年度比で食品ロス量を 3 分の 1 削減することを目標にしています。

本市は、令和 14 年度までの計画期間であるため、令和 12 年度時点で基準年度比 3 分の 1 削減を踏まえつつ、同じ削減率を維持した令和 14 年度の目標を以下のとおり設定します。

なお、この目標は、国が掲げている「食品ロスを 2030 年度までに 2000 年度比で半減」よりも積極的なものとなります。

区分	基準値 (令和元年度)	令和 12 年度時点	目標値 (令和 14 年度)
市内食品ロス量（総量）	3,877 トン	2,585 トン	2,326 トン
家庭系食品ロス量	1,722 トン	1,148 トン	1,033 トン
事業系食品ロス量	2,155 トン	1,437 トン	1,293 トン
基準値からの削減率	-	▲33%	▲40%

2 渋川市の令和 5 年度までの食品ロス量の推移について



3 結果及び考察

令和元年度から令和5年度までの渋川市における家庭系食品ロス量は、継続的に減少しており、令和元年度比で17.3%の削減を達成しています。一方、事業系食品ロス量については、令和3年度に大幅な増加が確認されたものの、その後は減少傾向に転じています。しかし、依然としてさらなる削減の余地があることから、今後は事業者への啓発や食品ロス削減に向けた取組を一層推進していく必要があります。